

**kaspersky**

# **脆弱性とパッチ管理モジュール 導入サービス**

## 概要

このドキュメントでは、カスペルスキーのエキスパートが提供する 脆弱性とパッチ管理モジュール の導入サービスについて説明します。

このサービスは、お客様の管理者が脆弱性の評価とパッチ管理モジュールの機能を活用できるようにすることを目指しています。これには、Kaspersky Security Center コンソールを使用した、脆弱性の特定、環境内で実行されているアプリケーションに対して適切な修正プログラムおよびアップデートの適用、ライセンスの管理が含まれます。

## サービスタイムライン

注：本サービスでは、前述の目標を達成するための作業時間として最大 8 時間が割り当てられます。すべてが実施され、お客様の了承を得た場合、作業時間が 8 時間未満であっても、プロジェクトは「完了」となります。

サービスは、以下のステージに分けられます：

初期段階	設定およびサービスの提供	最終段階
キックオフ、アーキテクチャについての説明	Kaspersky Security Center での脆弱性の評価とパッチ管理 Kaspersky Endpoint Security モジュールの有効化と展開	完了レポートの作成および提供
必要なすべての環境チェック（リモートアクセス、ネットワーク通信、インターネットアクセス、サーバーおよびライセンス要件）	システム内で WSUS (Windows Server Update Services) を Kaspersky Security Center に置き換えるのを可能にするネットワークエージェントの設定	
以下に関する説明： <ul style="list-style-type: none"><li>脆弱性およびアップデートを検索する方法</li><li>脆弱性を修正し、アップデートをインストールする方法</li><li>WSUS を Kaspersky Security Center で置き換える方法</li></ul>	以下のタスクの作成、および Kaspersky Security Center を使用してこれらのタスクを実行する方法のデモ： <ul style="list-style-type: none"><li>脆弱性の検索と修正</li><li>適切なアップデートの確認とインストール</li></ul>	

## 要件および声明

以下に記載された要件が完全に満たされていない場合、カスペルスキーはこのサービスを提供、または提供を試みる義務を負わないことにご注意ください。これらの要件のいずれかが問題となる可能性がある場合は、速やかにご連絡ください。

- 本サービスはリモートで提供され、各 4 時間の 2 回に分割される場合があります。
- リモートサポート Zoho Assist ツールで使用される TCP ポート 80 および 443 の解放（要件の詳細については、<https://www.zoho.com/assist/kb/firewall-configuration.html> を参照ください）。
- サービス提供中は、カスペルスキーのエンジニアからの妥当な要求（権限やアクセス権などを含む）に対応するために、お客様の IT 部門またはセキュリティチームの代表者と常に連絡できる状態であること
- 環境に Kaspersky Security Center および Kaspersky Network Agent がインストールされていること
- Kaspersky Network Agent が Kaspersky Security Center と問題なく、通信できること

- Kaspersky Security Center がインストールされているすべてのコンピューターおよび脆弱性とパッチ管理モジュールのインストール先となるすべてのコンピューターでリモートアクセスを実行できること
- Kaspersky Endpoint Security for Business Advanced レベル以上のライセンス
- 600 GB 以上のディスクの空き容量（アップデートモジュールのメタデータを保存するため）
- サービスに含まれるすべてのコンピューターで Windows が実行されていること
- Kaspersky Security Center の最新バージョンの要件を満たしていること  
要件は以下を参照ください：
  - システム要件：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/96255.htm>
  - DBMS に使用するアカウント：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/156275.htm>
  - Kaspersky Security Center で使用するポート：<https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/158830.htm>
  - デバイスの検索：[https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/3884\\_1.htm](https://support.kaspersky.com/KSC/14/ja-JP/3884_1.htm)
- 導入中に分析が必要なエラーが発生した場合は、標準のサポートインシデントでの対応となります。

## 作業範囲

範囲内	範囲外
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 脆弱性の評価とパッチ管理モジュールの概念に関する説明</li> <li>• モジュールおよびその機能の管理に関わる様々なタスクの説明とデモ</li> <li>• 「サービスタイムライン」セクションの記載に従い、Kaspersky Security Center の単一のインスタンスをベースにした、脆弱性の評価とパッチ管理モジュールの導入</li> </ul>	<p>「範囲内」および「成果物」に明記されていないタスクまたは製品の作業は行われません。これには、以下が含まれます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• あらゆる種類のポリシーの作成導入のためにネットワークエージェントで使用されるポリシーは、環境内の既存のポリシーになります</li> <li>• 脆弱性とパッチ管理モジュールの運用と厳密に関連付けられていないタスクの作成</li> <li>• Kaspersky Security Center と Active Directory の連携</li> <li>• 保護コンポーネントのインストール</li> <li>• Microsoft Windows Server Update Services との連携</li> <li>• ユーザーの作成、DNS、DHCP、Active Directory またはその他のネットワークサービス</li> <li>• カスペルスキー製品以外の環境の作成または編集</li> <li>• プロジェクトに含まれるマシンまたはシステムのバックアップコピーの作成</li> <li>• オペレーティングシステムのインストール</li> <li>• サーバーのマスター / スレーブ構成の作成</li> <li>• オペレーティングシステムのインストール</li> </ul>

## 結果と成果物

1. Kaspersky Endpoint Security のインストール環境には、Kaspersky Security Center から管理される、アクティブな脆弱性の評価とパッチ管理機能が組み込まれます。
2. 管理者が脆弱性を特定し、優先順位付けをする方法および修正プログラムとアップデートの配布管理を行う方法を理解できます。
3. 完了レポートが提供されます。



## 注意事項

Kaspersky Professional Services のカスタムプロジェクトでは、既成のサービスパッケージの対象範囲外となる追加の設定や展開、その他のさまざまなタスクを実行できます。カスタムプロジェクトにご興味ございましたら、弊社営業へお問い合わせください。

サービス実行開始日は、お客様およびカスペルスキーサービスチームの間で交渉し、希望開始日の 15 日以上前に取り決めます。



[www.kaspersky.co.jp](http://www.kaspersky.co.jp)

[https://support.kaspersky.co.jp/corporate/professional\\_services](https://support.kaspersky.co.jp/corporate/professional_services)

© 2023 AO Kaspersky Lab.

無断複製禁止。登録商標とサービスマークに関する権利は各所有者に帰属します。